

# 『一人ひとりの成長、学校教育の充実に向けて』

～39日間の夏休みから80日間の2学期へ～



芦北町立佐敷中学校 学校便り

## けやき

第5号

R4.9.2発行  
文責 光山

【校訓】  
自主性  
協同  
自根協

今年度の2学期は8月29日から始まりまし。始業式はリモートとなり、残念ながら体育館に集まって実施することができませんでした。始業式の話として、大きく3つのことを生徒に伝えました。概要を紹介いたします。

### 一、2学期は「ウイズコロナ」で、できることをできる限り！

今後新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策は確実に行わなければならない。だから、対策を徹底しながらできることは可能な限り行っていく。文化祭、合唱コンクールや職場体験、修学旅行等、感染対策をしっかりとしながら可能な限りの活動を行う覚悟である。

### 二、2学期の「凡事徹底」は、「校門一礼」と「授業の開始」を！

一学期から「凡事徹底」について話してきた。そこで、2学期には、「校門一礼」の徹底である。「校門一礼」は「校門で礼」ではなく、「校門で立ち止まって一礼」を心掛けてほしい。自転車通学の多い本校では、一学期において、ほとんどの人が校門で頭を下げていたが、自転車を確実に止め、立ち止まって礼をする人の割合を高くしたい。また、「礼」そのものについて一人一人よく考えていきたい。なぜ、校門一礼をするのか、体育館に入る時や、グラウンドの前で礼をするのか、一つ一つの行為の目的、意味を一人一人がよく考えて実践につなげてほしい。

二つ目は、「時を守る」と、特に、2学期は授業の開始時刻を守ることを徹底してほしい。佐敷中ではチャイムが鳴らないので、時計をみて、自主的に動く必要がある。今年度は日課表が変わったこともあり、戸惑う部分があったと思うが、日課表に沿って、授業の始まりを強く意識してほしいと思う。同時に、先生たちにも「授業を時間通りに始めて、時間通りに終わる」ことをお願いしている。2学期は、これら2つの「凡事徹底」にこだわってほしい。

### 三、「進路」「将来」について考えを深める2学期に！

文化祭や修学旅行、職場体験、集団宿泊、三者面談等、高校進学や将来の職業について考える機会がそれぞれの学年で何度もある。だからこそ、高校進学はもちろん、自分の将来を自分自身の手でつかみ取るためにも、授業や学校行事、体験をとおして、高校進学や高校卒業後の進路、十年後の自分の姿、職業について今まで以上に深く考える学期にしてほしい。

「ウイズコロナ」「凡事徹底」「進路」をキーワードにして、生徒、教職員、保護者、地域、教委の五者が連携して2学期の学校教育活動を充実させていきたいと思ひます。ご支援、ご協力をよろしくお願ひします。

### 芦北を元気に!!「佐中生徒会」!!

7月15日熊日新聞に掲載された佐中生徒会のインスタグラムを活用した「芦北町復興応援プロジェクト」の取組が広がりを見せています。生徒会執行部は、8月1日～5日まで「マイプラン」という研修を受講しました。この研修では大学生のファシリテータが本校に来校して研修を進め、最後は福島県の中学生とオンライン研修を行いました。昨年度も受けたこの研修が「芦北町復興応援プロジェクト」につながっています。そして、今夏は新たに1年生も加わり、町内の3つの事業所取材しました。この取材の様子は後日インスタグラムにアップする予定です。また、その2日間はNHKの同行取材がありましたので、取材の様子が放映(放送日未定)される予定です。このような生徒会の主体的な取組を行い、評価されることで、参加した生徒の自信にもつながっています。インスタグラムは、以下のアドレスです。

<https://www.instagram.com/p/CR8LpCHpzaZ/>

### 令和4年夏、生徒の成長・活躍!!

#### 新体操!九州中体連で見事優勝!!

熊本県中体連には地区代表として、新体操、柔道、テニス、相撲、空手道、剣道、バドミントン、水泳で出場しました。中でも、空手道、相撲、新体操は県代表として九州大会に出場することができました。

九州大会の結果は、  
○新体操 男子団体 優勝!!  
○相撲 団体戦 3位  
○空手道 女子団体組手1回戦  
女子個人組手ベスト16山尾さん  
男子個人組手ベスト16橋本くん

新体操の九州大会での演技をみることができ、心が震えるような感動をもらいました。  
選手の皆さんありがとうございます!

#### 少年の主張」県大会!3年岩本さんが代表に!

これは、熊本県の各地区から選ばれた中学生がそれぞれに自分の思い、考えを主張する大会ですが、つなぎ文化センターで9月3日(土)に開催されます。そこに、芦北町代表として岩本想架さんが選ばれました。岩本さんは、令和2年豪雨災害で被災した経験をおして、家族を繋ぐ、結びつける絆としての「写真」の存在に気づき、その写真から家族の絆、温かさについて素直な言葉で表現しています。佐敷中代表、芦北町の中学生の代表として、自分の思いをしっかりと伝えてくれると思います。

#### 【あとかぎ】

9月1日は防災の日でした。1923年9月1日に起こった関東大震災の起きた日です。以降毎年近くには自然災害に見舞われています。自然災害がいつ起きてもおかしくない生活の認識を持って、生活のしなやかさを保ちたいことを再確認しました。週明けには、大型台風の影響が予想されています。自然の力と比べたら人間の力は微々たるものですが、想定外の幅を広げて、できる備えをしておきたいと思ひます。(光)